進路通信

羽曳野市立高鷲南中学校

令和８年（2026 年）
９月２５日　発行
第８号

私立入試に大きく影響するテスト

来週から１０月に入ります。体育大会が終わると、いよいよ本格的に進路選択が迫ってきます。１学期の保護者説明会や進路学習でもお伝えしましたが、１０月の中間テスト以降は私立入試に大きく影響するテストが続きます。**まずは１０月１５、１６日に行われる中間テスト**です。**次に１０月３０日に３年生のみ実施される実力テスト**です。１０月の実力テストは１日で５教科を実施します。授業の５時間とは違い、テストのみを５時間連続で受けるというのは相当な集中力を要します。さらに、５教科入試の私立や全日制の公立高校を受験する人は「５時間のテストを集中して受けきる体力」も必要です。１日の学習時間が長ければよいというものではありませんが、**長時間のテストを集中して受けきる学習の体力・集中力**を日頃の授業や家庭学習の中で身につけましょう。そして、進路に大きく影響する**最後のテストは１１月末に行われる期末テスト**です。これら３回のテストは「中間」「期末」と呼ぶものの、**テストの中身は実力問題です。限定された範囲ではなく、１・２年生の範囲や中には小学校時代に学習した内容を活かして解く問題も出題されます。**定期テストという意識ではなく、３回とも「実力テスト」という姿勢で臨みましょう。

進路希望調査と今後の予定について

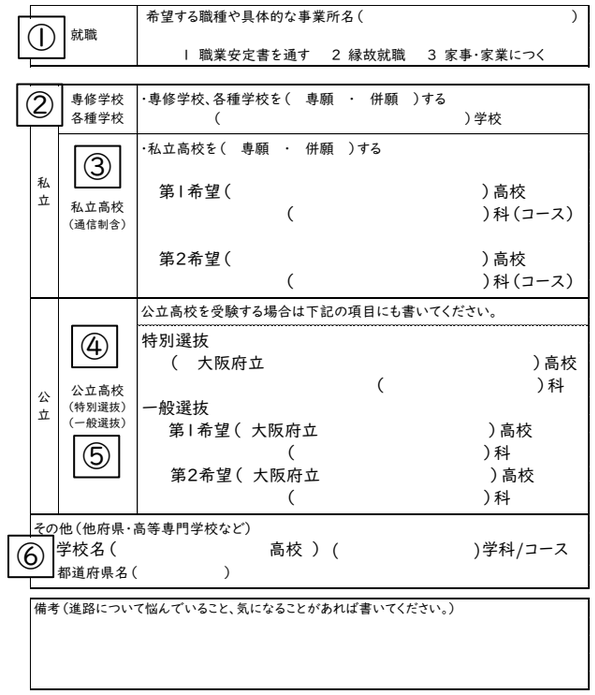
１０月以降に行われる２回のテストの結果を踏まえて、１１月下旬に「進路懇談」を行います。具体的な高校名を挙げながらの懇談となるため、オープンスクールや高校説明会等で得た情報から、自分に合った高校名を進路希望調査に記入してもらいます。（専願/併願に関わらず、正式な名称で学校名や学科・コース名を記入してください。）正式な名称がわからない場合は、各高校のホームページや今後配布予定の「進路説明会冊子【秋】」などを参考にしてください。

進路希望調査の提出にあたり、注意していただきたい点が２つあります。

まずは、併願者によくあることとして「志望する私立高校が決まっていない」「志望する私立はほとんど決まっているが、コースまでは考えていない」などといった進路希望の曖昧（あいまい）さです。**併願とはいえ、私立高校は自分が進学する可能性のある学校です。「どこでもよい」「公立しか考えていない」ではなく、真剣に自分の将来を考え、進路選択をしましょう。**

次に**「進路選択は保護者とよく話し合ったうえで、話を進める」**ということです。中学校（教員）は本人の学力だけではなく、生徒一人ひとりの性格、志望する高校への意志、やりがい、そのほか通学時間など様々なことを踏まえて共に進路を考えていきます。しかし、「保護者と本人の考えが大きく異なる」「懇談の場で、生徒の考えを保護者が初めて聞く」等ということがあると、限られた時間での進路懇談が難しくなります。**１１月の進路懇談では、なるべく私立高校の志望先を１～２校考えておいてください。**具体的な高校名から進路懇談を行い、１２月の期末懇談では、専願/併願に関わらず、私立高校の出願先を決定していきます。

記入について



①就職を希望される場合のみ

②私立高校の専修学校/専門学校名

⇒志望されない場合は無記入

③私立高校（通信制を含む）

⇒専願か併願に〇を記入

⇒私立の高校名と志望する**コース名**を正確に

例　大阪緑涼(高校)　総合進学（コース）

④⑤公立高校名

⇒特別選抜入試志望者のみ記入

⇒併願者は一般選抜の欄に最大第２希望まで

⑥他府県受験希望者のみ記入

⇒都道府県名も記入し、受験希望に関しては担任までご連絡ください

大阪府育英会の申請について

昨日までにご提出いただいた各家庭の「大阪府育英会奨学資金」申請書類は、中学校から育英会に郵送いたします。申請結果は、３ヵ月ほどかかると思います。申請が通りましたご家庭には、通知書類をお渡しします。中身をよくご確認いただき、期日までに本申請等を済ませてください。